

自己評価報告書

平成23年 3月31日現在

機関番号：15401

研究種目：基盤研究(B)

研究期間：2008～2011

課題番号：20300295

研究課題名(和文) 労働力の女性化がもたらす女性の就業と生活への影響に関する研究

研究課題名(英文) A study of the impacts of labor of feminization to women's work and life

研究代表者

由井 義通 (YUI YOSHIMICHI)

広島大学・大学院教育学研究科・教授

研究者番号：80243525

研究分野：地理学

科研費の分科・細目：地理学・地理学

キーワード：女性就業, 労働力の女性化, 非正規雇用, ジェンダー, 保育

1. 研究計画の概要

本研究は、サービス経済化と経済のグローバル化による労働力の女性化の都市構造への影響を明らかにするために、まずサービス経済化による女性就業の変化を次の点から分析を試みる。

①第1は、オフィスにおける就業者の女性数の増加や女性の職務内容の変化などから、大都市圏の事業所内の女性の役割の変化を事業所への聞き取り調査によって捉える。

②第2は、高齢者介護施設などの福祉サービス業に就業する女性の就業実態について、各施設への聞き取り調査と福祉サービス業に就業している女性へのインタビュー調査から明らかにする。

③第3は、女性起業家の起業実態とその地域展開について明らかにする。

④第4に大都市圏郊外地域と地方都市における既婚女性の就業について、正規就業者と非正規就業者の雇用上の差異に注目しながら、就業実態と生活状況との関連から明らかにする。

⑤第5に、大都市圏と非大都市圏の地方都市における既婚女性の就業を取り巻く社会的ネットワークによるサポートシステムの解明を試みる。

⑥第6に、女性就業の背景となる再生産領域の生活面に注目し、居住地の選択、生活様式、住宅需要など、女性の住生活の解明を試みる。

上記のアプローチを通して、従来の地理学的研究において女性の就業や生活空間を捉える際に必ずしも十分な配慮が無かった女性の就業意欲や、女性就業を取り巻く地域社会、家族状況、雇用環境などの諸側面を考慮しながら、女性の就業と生活について、マルチスケールで多面的な地理学的アプローチを試みる。

2. 研究の進捗状況

2008～2010年度の3年間において、女性就業関係の調査と女性就業に影響を与える保育状況の調

査を並行して行ってきた。3年間の研究成果については、国際学会(ICAS)や国内学会(日本地理学会, 人文地理学会)で発表するとともに、女性の就業とライフスタイルの変化について研究会を重ねて理論的研究も積み重ねてきた。

研究の打合せは、毎年主要学会時や学会前日に行ない、中間報告会も毎年度末に実施した。分担者ごとにみた研究の進捗状況は以下のとおりである。

メソスケールでの研究として、都市圏や都道府県単位で女性就業と生活状況の実態把握をした。

①女性就業に関する地理学関連文献レビューを行い論文化した(中澤)

②派遣労働・期間工, 介護派遣に関する調査を行い、一部は論文化した(宮内, 加茂)

③大都市圏における女性の就業と住生活の変化に対応した住宅供給に関する調査を行い、投稿している(由井・久保)

ミクروسケールでの研究として、多様化した女性就業に内在する格差に関連して調査した。

①女性管理職と女性起業家に関するインターネットアンケート調査し、学会発表した(古賀)

②沖縄県における学童保育および母子世帯の就業と保育に関して調査し、学会発表した(由井, 若林, 久木元, 久保)

③サンフランシスコで働く日本人女性の就業と生活に関して調査し、学会発表した(由井, 神谷, 久保)

④日本で働く外国人女性の就業と生活に関する調査した(神谷, 由井)

⑤沖縄県内でコールセンターに就業している女性への、就業と保育に関するアンケート調査, IT支援施設内保育所に聞き取り調査した(宮内・由井・加茂)

外国人女性と介護職・コールセンターで働く女性, 管理職の女性就業, および沖縄県における女

性就業と保育に関する調査について集中的に調査した。また、保育に関する調査は三大都市圏の郊外地域、広島市、沖縄県で調査を実施した。

3. 現在までの達成度

② おおむね順調に進展している。

(理由)

女性就業関係の調査では、日系ブラジル人や中国人などを対象とした外国人女性の就業と保育に関する調査を石川県で実施した。また海外で働く日本人女性に関する調査は、サンフランシスコでききとりちょうさを実施した。介護職・コールセンターで働く女性については名古屋市と沖縄県において調査した。管理職の女性就業については、ネットアンケート調査を実施した。さらに非正規雇用が多いことが特徴である沖縄県において女性就業と保育に関する調査や母子世帯の就業と保育について集中的に調査したため、ほぼ達成できている。調査が残っているのは、非正規雇用の女性の就業と生活に関する調査であるが、調査依頼を継続して調査の実施をめざしたい。

4. 今後の研究の推進方策

平成23年度は最終年度であるため、研究成果を2011年3~4月にホノルル(アメリカ合衆国)で開催のICAS(アジア研究者学会)、2011年8月タリン(エストニア)で開催のEAJS(ヨーロッパ日本研究学会)、2011年8月カンタベリー(イギリス)で開催のIGU(国際地理学連合)都市研究部会などの海外の国際学会と、日本地理学会や人文地理学会などの国内の主要学会で発表するとともに論文化することが中心となる。論文化にあたって補足調査も実施予定である。また、調査が進行中である非正規雇用の女性の就業と生活に関する研究も完成に向けて努力したい。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計20件)

- ①中澤高志(2010):「労働の地理学」の成立とその展開。地理学評論 83, 査読有り, 83-103.
- ②久木元美琴(2010): 地方温泉観光地における長時間保育ニーズへの対応—石川県七尾市の事例から—。地理学評論 83-2, 査読有り, 176-191.
- ③由井義通・加茂浩靖(2009): 介護サービス業に従事する女性の断片化された就業時間と生活—東広島市の事例—。地理科学 64, 査読有り, 211-227.
- ④宮内久光(2009): 沖縄県外で就労する季節労働者募集に関する組織的求人システムの形成と展開。沖縄地理 9, 査読有り, 27-40.
- ⑤中澤高志・由井義通・神谷浩夫・木下礼子・武田祐子(2008): 海外就職の経験と日本人としてのアイデンティティ—シンガポールで働く現地採用日本人女性を対象に—。地理学評論 81-3, 査読有り, 95-120.

ほか15件

〔学会発表〕(計32件)

- ①宮内久光・由井義通(2010年11月21日): 沖縄県のコールセンターで働く女性の就業形態。人文地理学会, 奈良教育大学.
- ②神谷浩夫・由井義通・瀧敦弘・久保倫子(2010年11月21日): 北米ベイエリアで働く日本人女性のライフコース。人文地理学会, 奈良教育大学.
- ③若林芳樹・久木元美琴・由井義通(2010年11月21日): 沖縄の保育体制における認可外保育所の役割と存立基盤。人文地理学会, 奈良教育大学.
- ④KUKIMOTO Mikoto, WAKABAYASHI Yoshiki, YUI Yoshimichi(2010年11月6日): The Impact of Institutional Changes by the Central Government On Childcare Culture in Okinawa. 5th Japan-Korea-China Joint Conference on Geography. Sendai, Japan.
- ⑤久保倫子・由井義通・若林芳樹・久木元美琴(2010年10月2日): 沖縄県におけるひとり親世帯の就業・保育・住宅問題。日本地理学会, 名古屋大学.
- ⑥由井義通・久保倫子・久木元美琴・若林芳樹(2010年10月2日): 沖縄県那覇市と浦添市における学童保育の地域的展開。日本地理学会, 名古屋大学.
- ⑦若林芳樹・久木元美琴・由井義通・久保倫子(2010年10月2日): 沖縄県浦添市における学童クラブ利用者の保育サービス利用実態。日本地理学会, 名古屋大学.
- ⑧Yoshimichi, YUI(2009年8月6日): Japanese women's Work Abroad: Comparative Study of Singapore and San Francisco. 6th International Convention of Asian Scholars, Daejeon, Korea.
- ⑨Yoshimichi, YUI(2008年9月18日): Housing problems for women in Japan: case studies of single women and single mother's families. 12th International conference of the EAJS: European Assoc. Japanese Studies, Lecce, Italy.
- ⑩Yui, Yoshimichi(2008年5月26日): The diversifying work and life of Japanese women: Feminization in labor market in Japan. Shanghai Forum, Shanghai Fudan University, China.

ほか22件

〔図書〕(計1件)

- ①OECD編, 神谷浩夫監訳, 鎌塚賢太郎・與倉豊・由井義通・中澤高志・武田祐子・久木元美琴・若林芳樹翻訳(2010): 『地図でみる世界の地域格差 OECD地域指標 2009年版』明石書店

〔その他〕

ホームページ等